



追加型投信 / 海外 / 債券 / インデックス型

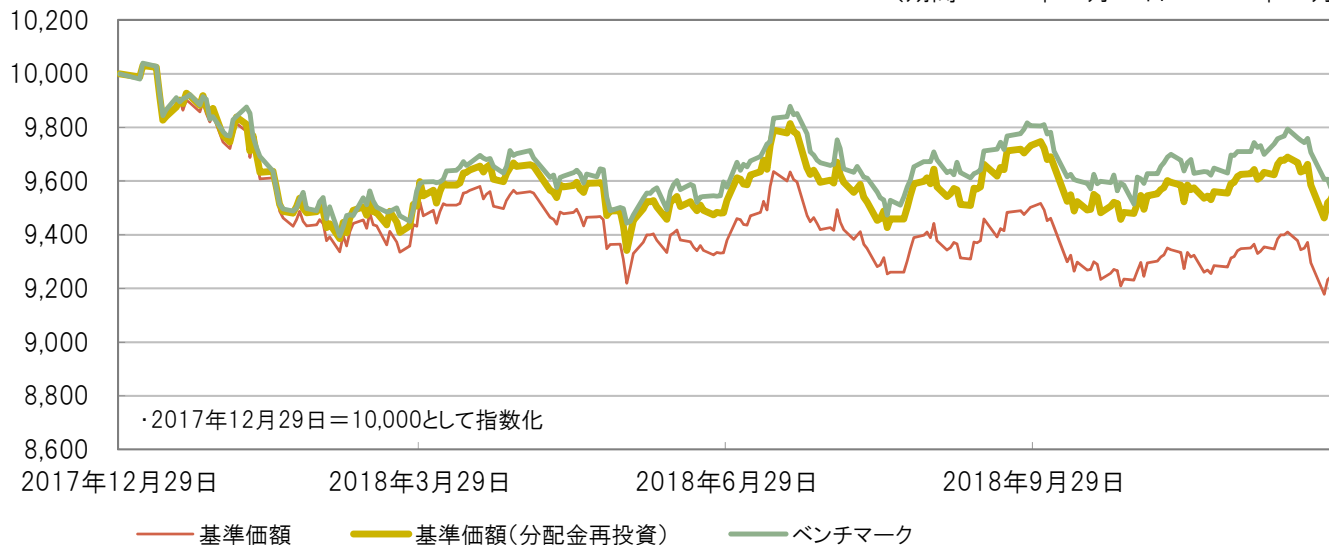
三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型) 足下の投資環境と運用状況について

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2018年12月28日

平素より、「三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
本資料では、当ファンドの足下の投資環境と運用状況についてご報告いたします。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年の基準価額等の推移

(期間: 2017年12月29日～2018年12月28日)



・当ファンドのベンチマークはFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

当ファンドのベンチマーク【FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)】とは

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※詳しくは【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

【2018年12月末現在の構成国】

アイルランド (A2)	アメリカ (Aaa)	イギリス (Aa2)	イタリア (Baa3)	オーストラリア (Aaa)	オーストリア (Aa1)	オランダ (Aaa)	カナダ (Aaa)	シンガポール (Aaa)	スウェーデン (Aaa)	スペイン (Baa1)
デンマーク (Aaa)	ドイツ (Aaa)	ノルウェー (Aaa)	フィンランド (Aa1)	フランス (Aa2)	ベルギー (Aa3)	ポーランド (A2)	マレーシア (A3)	南アフリカ (Baa3)	メキシコ (A3)	

・構成国は変わる可能性があります。

・格付けは2018年12月末現在のMoody'sの国債の自国通貨建長期信用格付けです。なお、上記はMoody'sの信用格付けであり、他の信用格付会社の信用格付けは上記と異なる場合があります。長期信用格付けとは、債券の中長期的な元本・利子の支払いの確実性の度合いについてランク付けしたものです。これは、アルファベットを使った簡単な記号で表現されており、世界各国、産業別の債券について比較しやすいため、広く利用されています。(ご参考: 日本の格付けは2018年12月末現在A1です。)今後、各国の政治経済環境により格付けは変更されることがあります。

(出所)FTSE Fixed Income LLCのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

【ご参考】2018年の米欧為替市場・債券市場について

(期間:2017年12月29日~2018年12月28日)

アメリカ

1年を通してみると、アメリカ10年国債利回りは上昇、為替は円高(米ドル安)となりました。

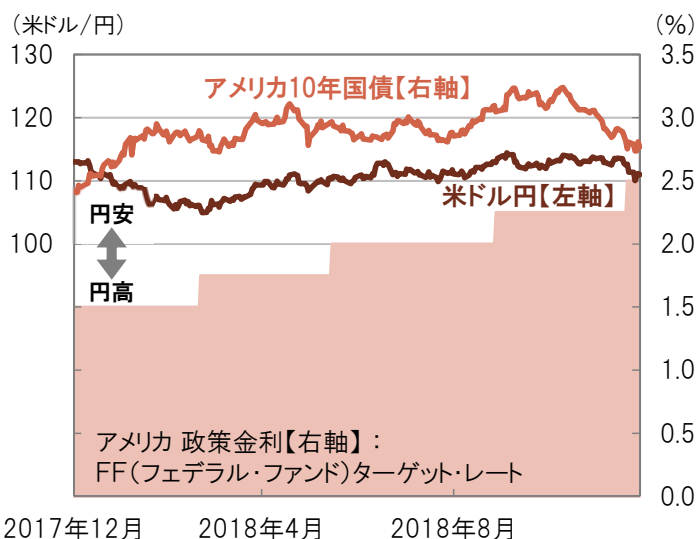
債券市場(アメリカ10年国債利回り)

- 1~2月: 減税による景気拡大期待と財政悪化懸念から上昇。
- 3~8月: 中国による市場開放政策の公表や、堅調なアメリカ経済、イタリアの政治不安、アメリカの保護貿易政策などを材料に上下。
- 9~10月: 原油価格上昇や追加関税の物価押し上げ効果、減税による財政悪化懸念などから上昇。
- 11~12月: 民主党が下院の過半数を獲得し、政権の政策期待が後退したことなどから低下。

為替市場(米ドル/円)

- 1~3月: 株価下落や保護主義的な貿易政策への懸念から円高。
- 4月: 中国との貿易摩擦緩和期待などから円安。
- 5~6月: イタリア政治の混乱からリスク回避の動きとなったものの、米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げなどで円安。
- 7~9月: アメリカ経済が堅調に推移したことや9月に利上げしたことなどから円安。
- 10~12月: 年末に株価が下落したことなどから円高。

アメリカの為替と金利の推移



	2017年12月29日	2018年12月28日	差
アメリカ10年国債利回り	2.43%	2.77%	+0.34%
米ドル/円	113.00円	111.00円	-2.00円

ユーロ圏

1年を通してみると、ドイツ10年国債利回りは低下、為替は円高(ユーロ安)となりました。

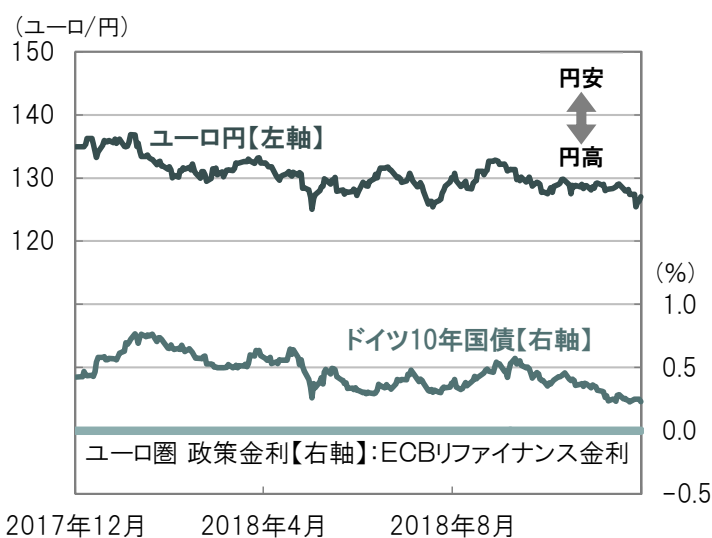
債券市場(ドイツ10年国債利回り)

- 1~2月: 景気拡大期待で上昇。
- 3~4月: 景気指標の悪化やドイツなどの政治リスクで低下。
- 5~6月: イタリア反体制派政権の発足や欧州中央銀行(ECB)の緩和的な金利ガイダンスにより低下。
- 7~8月: トルコ情勢悪化で低位に推移。
- 9~10月: ECB高官の強気なインフレ見通しから上昇。
- 11~12月: イタリア財政懸念や欧州政治不安、原油価格下落などで低下。

為替市場(ユーロ/円)

- 1~2月: 軟調な景気やドイツやイタリアの政治動向で円高。
- 3~4月: ドイツで連立政権が発足し円安。
- 5~6月: イタリア反体制派政権の発足により円高。
- 7~9月: 米欧が関税や貿易障壁撤廃の取組で合意し円安。
- 10月: イタリアの財政悪化懸念やメルケル首相の2021年引退表明で円高。
- 11~12月: 株安によるリスクセンチメント悪化などから円高。

ユーロ圏の為替と金利の推移



	2017年12月29日	2018年12月28日	差
ドイツ10年国債利回り	0.42%	0.23%	-0.19%
ユーロ/円	134.94円	127.00円	-7.94円

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 国債利回り、政策金利は基準価額との関連を考慮して、期日の前営業日の値を用いています。■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

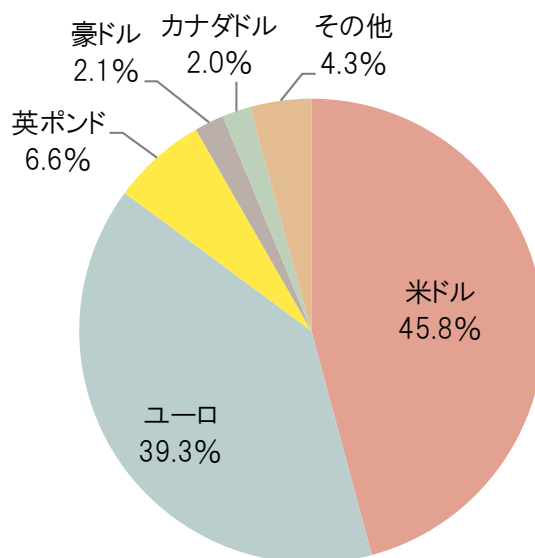
足下の運用状況

(2018年12月28日時点)

国・地域別組入比率

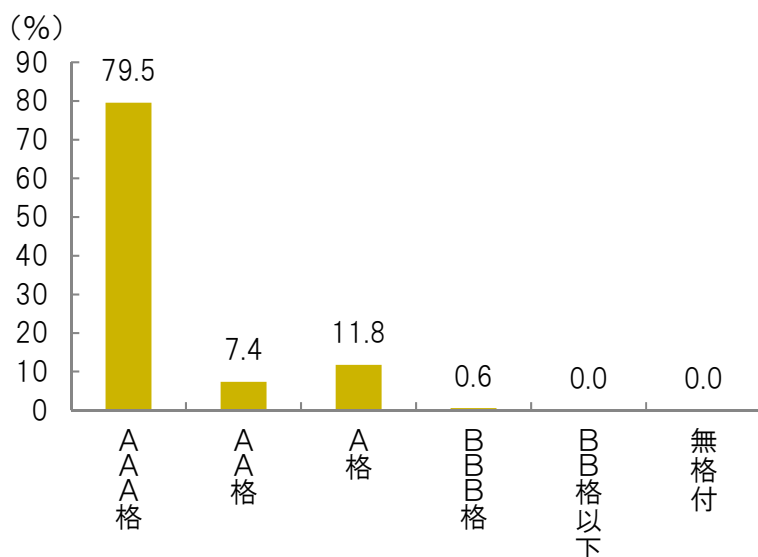
	国・地域名	ファンド 2018年 12月28日現在	<ご参考> ベンチマーク 2018年 12月末現在
1	アメリカ	45.7%	46.2%
2	フランス	10.0%	10.1%
3	イタリア	9.1%	9.0%
4	ドイツ	6.6%	6.9%
5	イギリス	6.5%	6.6%
6	スペイン	5.9%	5.8%
7	ベルギー	2.4%	2.4%
8	オランダ	2.1%	2.1%
9	オーストラリア	2.0%	2.1%
10	カナダ	2.0%	2.0%

通貨配分



・為替予約等を含めた実質的な比率です。

債券の格付け分布



・格付けは、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も高い格付けを表示しています。

・なお、付加記号(+、一等)を省略して集計し、S&Pの格付け記号に基づき表示しています。

利回り・デュレーション

最終利回り	1.9%
直接利回り	2.6%
デュレーション	7.1

・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。

・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。

・直接利回りは、個別債券等についての債券価格に対する受取利息の割合を示しています。

・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。

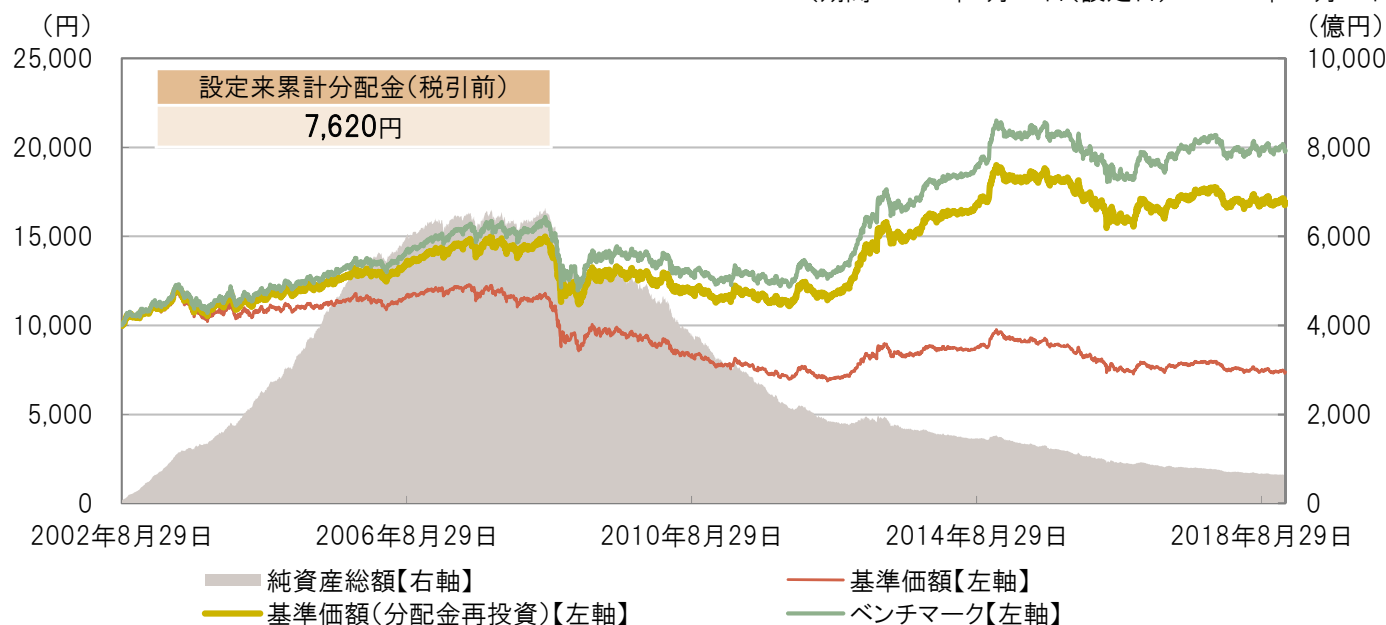
■原則として、比率は純資産総額に対する割合です。■国・地域は原則、発行地で分類しています。■四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。■最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認いただけます。■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

設定来の運用状況

基準価額等の推移

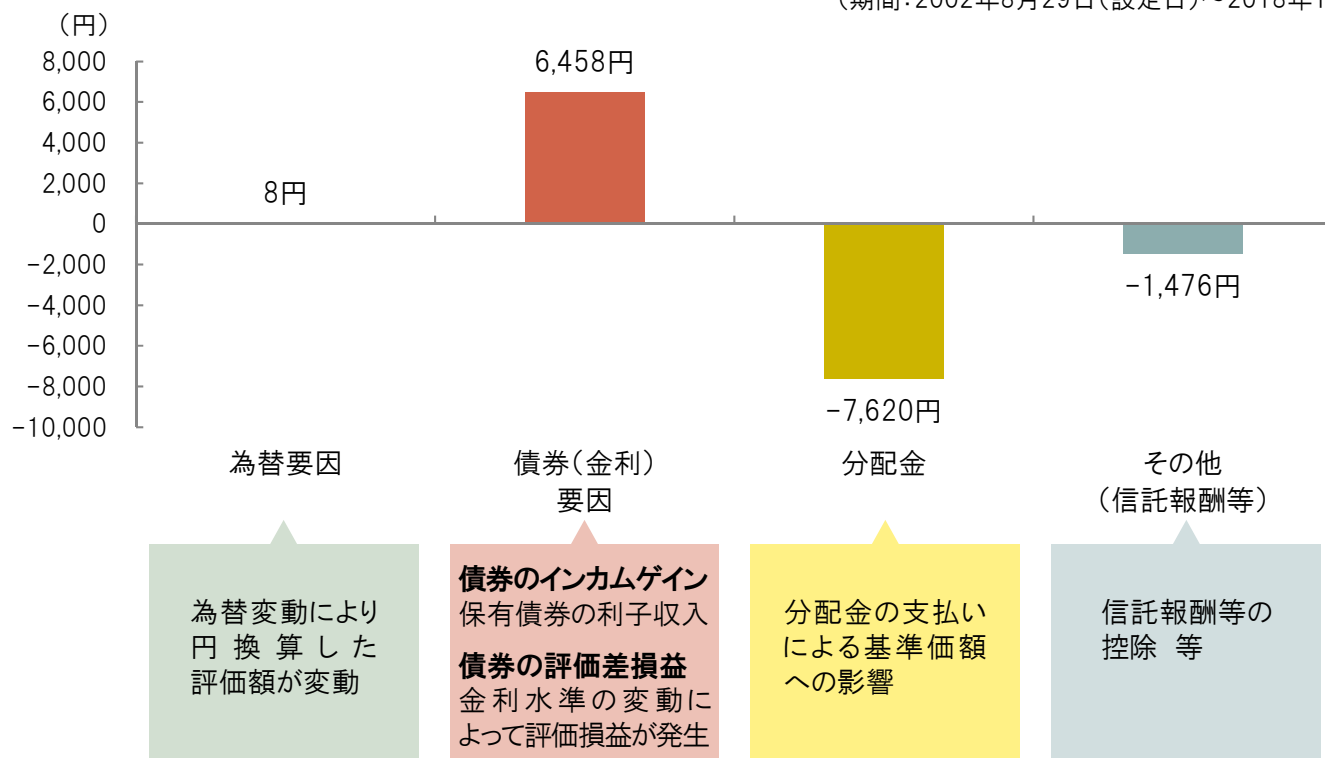
(期間: 2002年8月29日(設定日)~2018年12月28日)



・ベンチマークは、2002年8月29日(設定日)=10,000として指数化しています。・当ファンドのベンチマークはFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したも

基準価額の変動要因分析(累積)

(期間: 2002年8月29日(設定日)~2018年12月28日)



・上記表の要因分析は、組入債券の値動き、為替変動の影響等が基準価額に与えた影響をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性等を保証するものではありません。・各変動要因は少数桁以下を四捨五入した各月の数値を累計して算出しているため、実際の基準価額の推移と乖離する場合があります。・ファンドの基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではなく信用リスク、流動性リスク等の影響も受けます。

■ 分配金は1万口当たりです。■ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。■ 最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認ください。■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

【ご参考】今後の債券市場見通し

(2018年12月末時点)

アメリカ

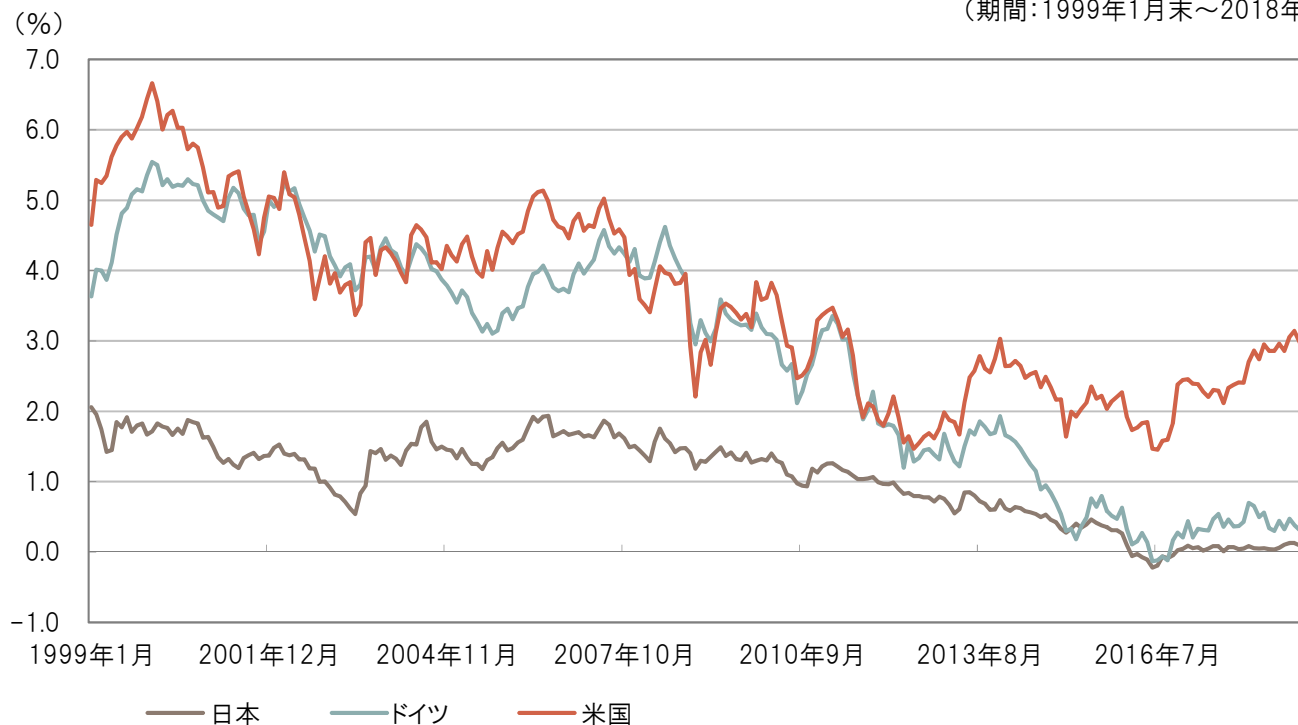
アメリカでは、税制改革や財政拡大など国内景気を刺激する政策の効果により、経済は当面安定した成長を続けるとみえています。FRBは緩やかに利上げを実施するとみえていますが、日欧と比較して相対的に高い金利への投資家需要や、保護主義的な貿易政策がグローバル景気に与える影響などから、長期金利は安定的に推移するとみえています。

ユーロ圏

ユーロ圏では、2018年12月にECBの資産買入が終了しましたが、政策金利を少なくとも2019年夏まで現状水準に維持するとしていることから、短期金利は当面安定的な推移が見込まれます。原油価格が軟調に推移していることなどから、ユーロ圏のインフレ率の上昇圧力は限定的とみており、長期金利は安定して推移するとみえています。

世界主要国の10年国債利回りの推移

(期間:1999年1月末~2018年12月末)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は為替変動を考慮しておらず、外国債券の利回りがそのまま投資成果となるわけではありません。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

【ご参考】今後の為替市場見通し

(2018年12月末時点)

アメリカ

アメリカでは、税制改革や財政政策の影響などから、景気は安定的に推移するとみています。FRBは雇用や物価動向を確認しながら、緩やかに利上げを行うとみており、アメリカ景気の動向や政策金利の引き上げ、バランスシートの正常化の影響などから、緩やかな米ドル高円安となるとみています。

ユーロ圏

ユーロ圏では、予算案でイタリア政府が譲歩するなど欧州連合(EU)との関係を維持する姿勢を示しており、イタリアの財政懸念は一時沈静化していますが、欧州政治は移民問題など不安要因を抱えています。ECBは現状の政策金利の水準を少なくとも2019年夏まで維持するとしていることから、ユーロは円に対して上値の重い展開が見込まれるものの、欧州政治の動向次第では上下に振れやすい場面もあるとみています。

米ドルとユーロの為替レート(対円)の推移

(期間:1999年1月末~2018年12月末)

(ユーロ/円)

(米ドル/円)



ユーロ

米ドル

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記為替レートは三菱UFJ銀行が公表している対顧客電信売買相場の仲値です。

【本資料で使用している指数について】

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

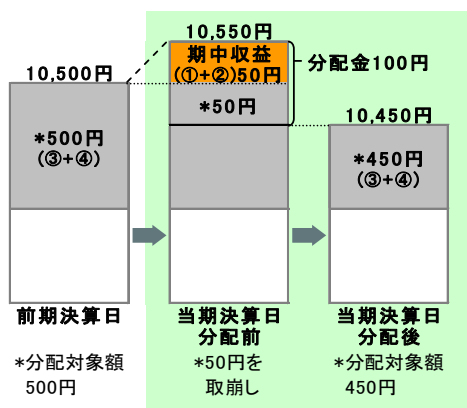


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

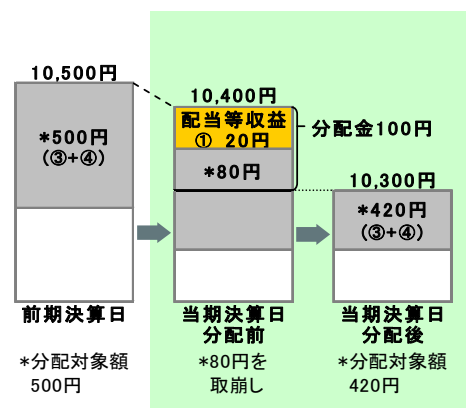
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



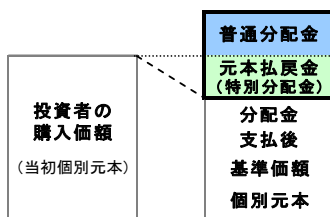
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

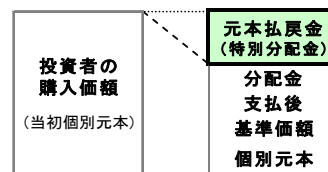
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合](購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券／インデックス型

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

日本を除く世界主要国の国債等(投資適格債)を主要投資対象とし、日本を除く世界主要国の国債の指標であるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の動きを概ね捉えつつ、毎月分配を行うことをめざします。

■ファンドの特色

特色1 日本を除く世界主要国の国債等(投資適格債)を主要投資対象とします。

特色2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

特色3 毎月の分配をめざします。

・毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、利子・配当収益を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案したうえで分配を行います。
 ・分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券／インデックス型

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2002年8月29日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限1.62%(税抜 1.5%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**をかけた額

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.08%(税抜 年率1%)**をかけた額

その他の費用・手数料 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○			
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。